

こちら航空宇宙推進室 ニュースレター

北海道スペースポートツアー開始

北海道スペースポート（HOSPO（ホスポ））を管理運営するSPACE COTAN（スペースコタン）は、北海道オプショナルツアーズ、日本旅行と共に、民間の宇宙開発を学べる一般向けプログラムを造成しました。

SORAや滑走路、インターステラテクノロジズの施設を専属ガイドが案内する内容となっており、日本の民間宇宙開発を肌で感じることができるプログラムです。

中学・高校の修学旅行だけではなく、宇宙開発に関心のある一般団体、地方公共団体の研修旅行としても利用でき、多くの方に宇宙産業を身近に感じてもらうきっかけをすることで、町内の観光に貢献していきます。



山崎学園富士見高等学校 体験学習実施

5月8日から11日にかけて、東京都の山崎学園富士見高等学校が大樹町へ訪れ、「まちづくり」をテーマに体験学習を実施しました。

近年の修学旅行では、これまでの観光地を巡る「見学中心型」から、参加生徒自らが課題を設定して解決していく「探究学習型」へと進化しており、今回のプログラムでも、見学や体験だけで終わるのではなく、探究的な学びができるように構成されています。

プログラムでは、SPACE COTANをはじめ、インターステラテクノロジズ、漁業組合、農業組合、サンエイ牧場、メムアースにご協力をいただき、一次産業などを含めた大樹町のまちづくりについて学びました。最終日には、大樹高校の生徒による学校・活動紹介などの交流や、体験学習で学んだ大樹町のビジョンや課題をもとに発表会を行いました。

今後も、宇宙産業と大樹町ならではの魅力をかけ合わせた取り組みを進めていきます。



旭浜漁港の見学



農家体験の様子



発表会の様子

宇宙ビジネス展示会 SPEXAに参加しました

4月24日から26日に東京ビックサイトにて開催された宇宙ビジネス展示会「SPEXA-Space Business Expo-」のカンファレンスに参加しました。

「自治体×宇宙」をテーマに、大樹町のほか、愛知県豊橋市、大分県、鳥取県の代表者が集結し、それぞれに即した宇宙ビジネスで地域がどう活性化するのか、宇宙ビジネスで実現する自治体の未来の姿や抱える課題について議論をしました。

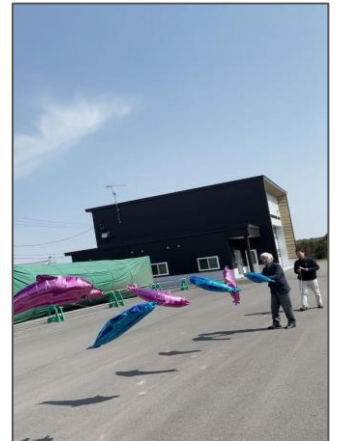
今後も展示会等へ積極的に参加し、北海道スペースポートをPRすることで、プロジェクトの共感者を増やし、「北海道に宇宙版シリコンバレーをつくる」ことを目指します。



北海道科学大学 Balloon kiteの低高度係留実験

5月3日と4日で北海道科学大学による「Balloon kite（バルーンカイト）の低高度係留実験」が行われました。

今回の実験では、単独の魚型Balloon kiteを6つ繋げて係留することに成功し、繋がっている魚型Balloon kiteが風速により係留索の取り付け位置を自動調整する仕組みの必要性が明らかとなりました。また、5月5日には「こどもの日ミニイベント」へ出展し、子どもたちがBalloon kiteを体験しました。



電通大学 無人航空機飛行実験

4月18日から5月6日まで、電気通信大学大学院情報理工学研究科の田中研究室による「無人航空機飛行実験」が行われました。

同研究室では、スマートミッションを遂行する自律飛行ロボット「スマート飛行体」の開発に関する研究をおこなっており、平成23年より大樹町で実験を行っています。

今年度も引き続き、低速・低高度でも安全に飛行可能な機体を使用し、当研究室で設計した制御系の検証や自動飛行用ナビゲーションシステムの検証、上空からの情報収集システムの検証などを行いました。

